

足病変に伴う症状（問診，視診，触診，必ず左右差をみる）

足の痛み

急性・慢性

急性

下肢または足全体に激痛

予想される要因 動脈閉塞，静脈血栓症，椎間板障害

両足の痛み，麻痺，知覚障害

予想される要因 脊髄関連の疾患

慢性

慢性的に繰り返し起こる発赤を伴う発作的な両足の痛み

予想される要因 血流障害

荷重の有無に関係なく発生する，継続的で原因不明の痛み

予想される要因 血流障害，神経障害（ポリニューロパシー）

部位別

かかとの痛み（荷重による）

予想される要因 足底腱膜炎（踵骨骨棘がある場合とない場合の両方），かかとの皮下脂肪の裂傷

足底の痛み

予想される要因 足底腱膜炎（踵骨骨棘がある場合とない場合の両方），足底への荷重負荷

第1中足趾節関節の痛み

予想される要因 骨の圧痛を伴う外反母趾（靴が骨を圧迫），慢性滑液包炎，痛風または他の関節炎

前足部の膨らみの痛み

予想される要因 骨の圧痛（中足骨骨頭部痛），神経の圧痛（モートン神経痛）

電気が走るようなピリピリした足趾の痛み，痛みを伴う足趾の変形

予想される要因 外反母趾，ハンマートゥ，マレットトゥ，鶏眼，足趾間の白癬症

骨の上の痛み

予想される要因 骨の圧迫，骨の異常増殖，滑液包炎

腫脹（はれ）・むくみ

突然の痛みを伴う局所的な腫れ，発赤や熱を伴うこともある

予想される要因 感染，関節炎，疲労骨折，変形性関節炎

両足全体に広がる無痛のむくみ，親指で押すとへこみが残る

予想される要因 心疾患，腎疾患，低タンパク質血症

皮膚の変色

激痛を伴う足または下肢の突然の蒼白

予想される要因 動脈閉塞

（強い）痛みを伴う足または下肢の（突然の）黒ずみ，静脈がはっきりと浮いて見える

予想される要因 静脈血栓症

痛みを伴う足趾間のひび割れ

予想される要因 白癬症，清潔ケアの不足（不衛生）

足底の角質化，やや黄色みがかかった皮膚

予想される要因 過度の圧迫，疣贅（いぼ）

足部の褥瘡（後発部位は踵部）

予想される要因 圧迫，繰り返す外力，靴ずれや靴の中に入った異物による圧迫，胼胝による圧迫など

爪の変色と変化

爪全体が変色

予想される要因

- ・白っぽい→貧血など
- ・蒼っぽい→心機能の低下
- ・色は不定→新陳代謝障害
- ・色は不定→中毒など

斑状に変色

予想される要因

- ・赤黒い→外傷
- ・黄ばみ→主に乾癬
- ・濃褐色→ホクロまれに腫瘍，真菌類による感染

陥入爪

予想される要因 体質，サイズの合わない靴による圧迫障害

肥厚爪

予想される要因 爪白癬，乾癬，加齢など

足病変の背景要因とアセスメントのポイント

動静脈系疾患

下肢血管の主な疾患としては，閉塞性動脈硬化症，下肢静脈瘤，深部静脈血栓症があります。動脈血は腹部大動脈から骨盤内で左右の総腸骨動脈に分岐し，その後，下腿において前脛骨動脈は足背動脈へと続きます。下肢のどの動脈が狭窄または閉塞するかによって症状の出現の仕方に差が出ます³⁾。急性の動脈閉塞では，突然発症する，5P（pallor：蒼白，paresthesias：しびれ・知覚異常，pain：痛み，paralysis：運動麻痺，pulselessness：脈拍触知不可）が特徴的な症状です。「急に足が冷たくなってきて，痛くなってきた」と訴えたとき，足のしびれや感覚麻痺，動かさないようであれば，ただちに専門医に連絡し，救急で受診するようにしてください。血流が再開するまでのゴールデンタイムは6時間以内とされています⁴⁾。

下肢閉塞性動脈硬化症（PAD）

慢性的な下肢動脈硬化による血管の狭窄や閉塞が原因となり，下肢血流が低下する疾患を下肢閉塞性動脈硬化症（peripheral arterial disease；PAD）といいます。リスクファクターとしては，高齢・高血圧・脂質異常症・喫煙などが挙げられますが，糖尿病が最も強い影響を及ぼしています。以上の背景から，PADの患者は他の動脈閉塞性の疾患を併発していることがあり，下肢・足部だけでなく全身の観察が重要です（図1³⁾）。

PADの問診には，Fontaine（フォンテイン）分

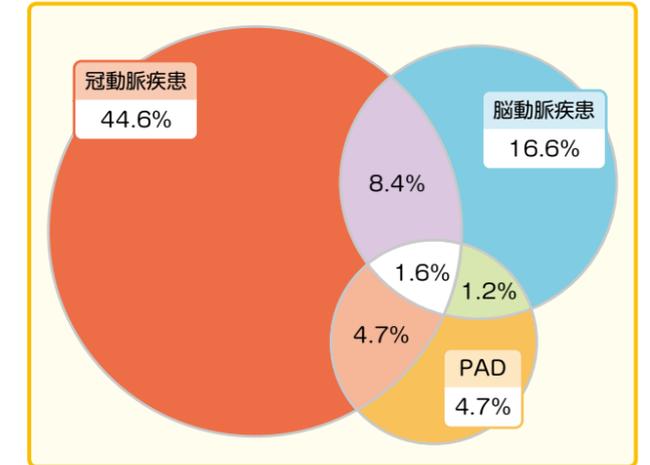


図1 PADと冠動脈疾患，脳動脈疾患の合併頻度（文献³⁾p5より引用）

表1 フォンテイン分類

| 時期 | 自覚症状 |
|------|-------------------------|
| I期 | 症状なし，冷感，しびれ |
| II期 | 間欠性跛歩，歩くと足が痛くなる，筋肉が痛くなる |
| III期 | 安静時疼痛 |
| IV期 | 潰瘍・壊死 |

類があります（表1）。III度，IV度では血行再建術が必要です。50歳以上のPAD患者のうち，無症状は20～50%，間欠性跛歩は10～35%，下肢重症虚血肢は1～2%とされています³⁾。

重症下肢虚血（CLI）

1か所の閉塞であれば側副血行路が閉塞部から遠位血管に血流を提供しますが，その側副血行路の近位部にさらに狭窄・閉塞が起これば，より進行したPADの状態となり，重症下肢虚血（critical limb ischemia；CLI）に至ります。